

旭ヶ丘キリストの教会
受難週礼拝順序
2026年3月29日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 禱		一 同
讃 美※	聖 歌 2 1 8 「 高 き 巖 よ 」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖歌418「あなたの罪あやまちは」	一 同
教会学校	紙芝居「ロバに乗った王様」	牧 師
讃 美	聖歌502「迷えるとき光を」	一 同
聖書朗読	イザヤ49:1-7 (口語p.1014)	
奨 励	イザヤ書の福音(第18回)	牧 師
主 題	「苦難のしもべの歌」	
讃 美	聖 歌 3 9 7 「 遠 き 国 や 」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖歌379「主よこのところを」	一 同
祝 禱※		牧 師
来週の箇所	イザヤ書第 52,53 章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【受難週の歩み】

- 3 / 29 (日) <棕櫚マタイ21:1f, ヨハネ12:12f>
/ 30 (月) <宮浄マタイ21:12f, ルカ19:45f>
/ 31 (火) <討論マタイ21:23f, ルカ20:1f>
- 4 / 1 (水)
- / 2 (木) <洗足ヨハネ13:4f> 10:聖研
- / 3 (金) <受難マタイ27, マル15, ルカ23, ヨハ18>
/ 4 (土) 13-16子供オプンハウス
- / 5 (日) <復活マタイ28, ルカ16, ルカ24, ヨハ20>
イースター礼拝



【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「暗闇の中の微笑み」

(「幸いな人」2026年3月26日のコラム)

貧しい人々の中の最も貧しい人に仕え、ノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサの証しです。

彼女の笑顔は、常に神の愛と喜びに満ちあふれているように見えました。しかし彼女は活動を始めて間もなく、神様のご臨在を全く感じられないという、深刻な問題と心の闇を抱えていました。「神様、どこにおられるのですか」「私の魂には氷のような冷たさしかありません」。彼女が聴聞司祭に宛てた手紙には、神様に見捨てられたかのような苦悩が綴られていました。それは死ぬまでの約50年間、彼女を妻のようにふるいにかけて続けました。

しかし、彼女の信仰はなくなりませんでした。彼女はこの耐え難く、いつまで続くのか分からない孤独を、「十字架上で『わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか』と叫ばれたイエス様の苦しみを分かち合うこと」だと受けとめたのです。

感情において主を感じられなくても、意志において主を愛し、従い続ける……彼女はそう決断したのです。マザー・テレサのこの体験は、世界中の「兄弟たち」を力づける源泉となりました。マザー・テレサは深い断絶と孤独を知っていました。だからこそ路上で死にゆく人々の孤独に対して、単なる同情を超えた真の連帯をもって、神の愛を伝えることができたのです。